

ボランティア・市民活動センター情報

令和3年7月28日 発行（令和3年度 No.1）



ボランティア清掃活動を中止しました

5月22日に実施を予定しておりましたボランティア清掃活動は、緊急事態宣言が発令されたため、中止いたしました。

一般市民の方はもちろんのこと、高校生や小さなお子さんまでお申し込みいただき大変残念ですが、またご案内させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

Twitter（ツイッター）はじめました！

社協の公式アカウントを開設しました。事業や市内の地域福祉に関することなどを随時発信していますので、たくさんの「いいね」をお願いします！



QRコードを読み取ると、ツイッターを見ることが出来るよ



こんなときだからこそ！ 皆さまからの善意をお届けしました！



昨年は新型コロナウイルス流行のため、多くの事業が影響を受けました。

毎年多くのカレンダーを集めて小樽市内の様々な施設等にお配りしている「カレンダーリサイクル活動」も、その1つです。

日本各地からカレンダー等が届くということもあり、

多少の不安はありましたが、喜んでいただけたことがわかりホッとしました。

養護老人ホーム小樽育成院からお礼状と利用者さんの写真が届きましたので、ご紹介いたします。

25の施設等に配布し、総合福祉センター1階でも密を避けながら、お持ち帰りいただくことができました。

拝啓

日頃より、当法人の運営につきまして、格別のご理解とご協力を賜り暑くお礼を申し上げます。

さて、昨年末にご提供いただいたカレンダーですが、入所者の皆様は毎年カレンダーが届くのを心待ちにしております。入所者様の中には、お気に入りのデザインがあったり、カレンダーを見ることでその日の予定を決めたりと、新しい1年の始まりを迎えるにあたって、様々な人間模様が繰り広げられていました。

毎年ながら、たくさんのカレンダーを寄贈いただきましたことに深く感謝申し上げます。

敬具

養護老人ホーム 小樽育成院



令和3年度 ボランティア・市民活動助成事業 決定団体のご報告

ボランティア・市民活動センターで行う助成事業は、主に、申請団体の活動内容や、助成金の使い道をプレゼンしていただき、決定しています。

今年度は、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、大勢が集まるプレゼンを行いませんでしたが、コロナ

禍の中、多くの団体から小樽を元気づけようと、積極的に申請がありました。

審査にあたる当センターの運営委員と書類での審議を重ね、5月8日、20団体へ助成が決定いたしました。以下、今年度の助成団体を報告いたします。

◆ 令和3年度 助成団体一覧 ◆ (順不同)

- 社会福祉 NPO 団体 つむぎ
 - 朝里遺産の会
 - 小樽フラワーマスター連絡協議会
 - 小樽市立朝里小学校
 - NPO 法人 小樽民家再生プロジェクト「相談会」実行委員会
 - NPO 法人 歴史文化研究所
 - 小樽市立高島小学校
 - 親子ひろば るんるん
 - たるBOOK
 - たんぽぽ文庫
- コーブさっぽろ虹の会
 - 小樽BBS会
 - 北海道小樽桜陽高等学校ボランティア委員会
 - おたるエデュケーション
 - 小樽市ひとり親と寡婦の会
 - ウェルカム・ガーデン
 - NPO 法人 北海道鉄道文化保存会
 - NPO 法人 猫のシェルターアリエル
 - 塩谷松前奴保存会
 - な〜んとなく楽しむ会



たるBOOK

「本とやさしい畑探検に行こう!」は、農園を訪問し、野菜の目の前で、その野菜の絵本を読み聞かせするという企画でした。



ここで、令和2年度の助成団体の中から、一部の活動について紹介しますね♡



小樽桜陽高校ボランティア委員会

高齢者宅除排雪などが行えなかったため、落ち葉の季節に、例年よりも規模を拡大して「校外清掃ボランティア」を行いました。



親子ひろば るんるん

コロナ禍でも、親子の居場所を必要とする方達のために、人数制限を設けて、予約制でひろばを開催しました。



フラワーパーク桂岡



みんなが主役！
活動アルバム

桂岡のバス停前の一角で花壇を始めてから、13年目になります。

道内各地のお花を見るバス見学旅行は、会員以外の方も多く参加する楽しいイベントですが、昨年は行くことができず、花壇もなかなか手がつけられない状況でした。

コロナ禍ではありますが、今年の花壇は、チューリップ畑からスタートしました。バス停で待っている方から「見事な花壇ですね。」と声をかけ

ていただいたり、お花畑の写真を撮りに来る方がいて、励みになっているそうです。「今じゃ何種類の草花が植わっているのかわからない…」というほど種類に富んだこの花壇には、机と椅子が設置され、「たまに、小学生がここで宿題をやって遊んでいくんですよ。」と年齢問わず、憩いの場になっていることを教えてくださいました。



蘭島ふれあいネットワーク

小樽市の中でも高齢者、独居のお年寄りが多い蘭島地域。初代代表が地域の困り事や、お年寄りの話し相手がいないことなどについて、「放っておけない。」と問題意識を持ち、活動が始まりました。

活動の中心は、町内にいる会員です。週に1回、お弁当の配食で安全・安否確認をしたり、蘭島地区のニーズを把握する調査や、交流会などを行い、地域のお年寄りにとって、住みやすい町づくりを目指しながら活動しています。



カモの親子 救出作戦

6月某日、総合福祉センター前にカモの親子がひょっこりと現れたのです。

「かわいいね。」なんて言ってたのもつかの間、子ガモ数羽がセンター横のマンホールのフタから下に落ちてしまいました。

とりあえず親ガモと残りの子ガモを先に川へ放し、市水道局の専門家の方にお力を借りながら落ちた子ガモの救出開始。

下水路からまず3羽を拾い上げ川へ。時間の

経過と共に、残りの子ガモも出てきたところを救出できたものの、最初の親子を放流してから時間が経っていたので、親子離ればなれになってしまいました。仕方なく、残りの子ガモを川へ放すと、なんと！どこからともなくお母さんガモと子ども達が現れたのです！無事に合流できて、ホッと一安心。ほっこりした出来事でした。



開催報告

ボランティア講座 ～子ども食堂・地域食堂 について学ぼう～

令和3年7月10日(土)

小樽市内でも取り組みが活発になってきている「子ども食堂・地域食堂」をテーマとした、ボランティア活動について学ぶ講座を開催しました。

NPO 法人子どもの未来・にじ色プレイスの代表理事・安田香織氏が、札幌で運営しているこども食堂、フリースペース、学生の居場所について、丁寧にお話してくださいました。

6年の活動の中で、ご本人や仲間のボランティアさん達が経験してきたことや、周知の方法、子ども達に対する思いなどを聞くことができ、大変学びのある講座となりました。受講された方々は、講師の子どもに寄り添う姿勢に感銘を受けていらっしゃいました。



「ボラサポ」へのご協力
ありがとうございました



ボラサポとは、災害が起こった際、被災地等で活動するボランティアグループやNPOのための支援金、「支える人を支える」募金です。

令和2年度は、東日本大震災で被災した3県（宮城県、岩手県、福島県）と令和3年2月福島県沖地震での活動について、合わせて1,937円の募金をお預かりし、令和3年3月13日に振込をいたしましたので、ご報告いたします。ありがとうございました。

あなたができる！が見つかるアプリ

たるCAN!



「たるCAN!」は、
小樽市社会福祉協議会(小樽市社協)が提供する
小樽で活躍する人たちのための
情報交流アプリです。



いよいよ
8月!
活動する
皆さんを
応援する
アプリが
リリース
されます!

Coming soon...

発行・編集

小樽市社会福祉協議会 小樽市ボランティア・市民活動センター

〒047-0033 小樽市富岡 1-5-10

小樽市総合福祉センター内

TEL 0134-33-5299 FAX 0134-32-5641

Eメール ovcac@otaru-shakyo.jp



本誌は、赤い羽根
共同募金の助成を
受けて発行してい
ます。